狭山市立堀兼中学校

学びの道（学びのたより）

学校だより　第５号
令和８年　５月１９日
狭山市立堀兼中学校
校　長　　田中正悟

『伝えることの素晴らしさ　伝わることの喜び』
今を生き、未来をつくっていく君たちに送るメッセージ

【学校朝会での校長講話】

５月１３日、学校朝会が行われました。そこで、私は生徒の皆さんに向けて、『応援』というコラム（自作）と、今、生徒の皆さんに私が伝えたい『伝えること　伝わること』というメッセージを送りました。内容は次のとおりです。

『応援』

応援って、なんだか素敵だなぁ。
応援されると、元気が出る。
応援していると、気持ちが明るくなる。
応援って、される方もする方も、プラスのエネルギーにつながるんだなぁと感じる。
応援って、素敵だなぁ。
応援できる人になりたい。
応援していただけるような生き方がしたい。
今日も堀中の生徒たちの学びを応援しよう。
今日も堀中の生徒たちの成長を応援しよう。
堀中生の君たちが「今と未来を生きる力」をゲットしていくことができるように　祈りを込めて応援する。
『がんばれ～！！』

いつも君たちの前進を、後ろから後押ししています。

（ただし、自ら歩んでいくのは、君自身ですよ。）

『伝えること　伝わること』

私が心に抱えていることをみなさんに伝えたいと思います。
それは、私が思っていることを100％、人様に伝わるように伝えることって、本当に難しいということです。
そのようなつもりで言ったわけではないのに、伝える私の表現力によって、または、とる人の状況よって、伝わることが変わってくるように感じています。
最近、言葉で100％、真意が伝わることは、不可能に近いんじゃないかと思ったりもしています。
それでは、どうすれば、自分の伝えたいことが伝わるのか、または、相手が本当に伝えたいことを100％に近い形で理解し、受け取ることができるのか。
あなたは、どうすればいいと思いますか？

（ちょっと近くの人と聴き合ってみてください。）
※『このとき、君たちは近くの人と聴き合っていたね。聴き合う、対話することって、大切だね。ありがとう。』

続きがあります。聴いてください。
私は心から思うのです。相手に何かを伝えたいという思いと行動は大切。そして、人様が何を伝えたいのか、心を開いて受け入れよう、止めよう、理解しようとすることも大切だということを。
そこに、たとえ意見が違っていたとしても、双方につながりが生まれ、対話が生まれ、時間はかかるかもしれないけれどいつかは深い理解につながっていくのではないか、伝わっていくのではないか、そして、対話により、よりよい何かが見えてくるのではないか、そう思うのです。

『みなさん、私の話を大切に聴いてくれて、ありがとうございました。心から感謝しています。』

【表彰】

５月１３日の学校朝会で、生徒の表彰を行いました。表彰者は次のとおりです。

【第４６回狭山市中学生ソフトテニス大会（女子個人戦）】

準優勝　〇〇〇〇さん　〇〇〇〇さん　『おめでとうございます。』

【第５３回狭山市少年錬成剣道大会（中学１年生の部）】

第三位　〇〇〇〇さん　『おめでとうございます。』

『賞状を手渡しするとき、上記の３人の笑顔がとても印象的でした。頑張ったことが結果に出ると、本当に嬉しいよね。その笑顔にふれることができて、私も嬉しいです。「おめでとう。」』

『「共に学び、共に伸びる生徒」が育つ堀兼中』コーナー

